

—近畿川崎病研究会—

第26回近畿川崎病研究会会長

松村 正彦

運営委員長

横山 達郎

運営委員

上谷 良行	上村 茂	越後 茂之	荻野廣太郎
奥野 昌彦	尾内善四郎	片山 博視	北村惣一郎
清沢 伸幸	米田 正始	桜井 隆	佐野 哲也
篠原 徹	四宮 敬介	清水 達雄	杉本 久和
鈴木 淳子	瀬戸 嗣郎	津田 悦子	鄭 輝男
寺口 正之	土井 拓	富田 安彦	中川 雅生
中嶋 徹	西岡 研哉	服部 益治	馬場 國藏
濱岡 建城	福田 和由	藤原 久義	古庄 卷史
榎野征一郎	松下 享	松田 暉	松村 正彦
三谷 義英	村上 洋介	横山 達郎	吉林 宗夫

顧問

神谷 哲郎	川崎 富作	川島 康生	田村 時緒
濱島 義博	森 忠三		

事務局

〒100-8585 東京都千代田区内幸町 2-1-1

帝人 (株) 医薬事業本部内

TEL 03-3506-4868

—参加者へのお知らせとお願い—

1. 参加者へ

- (1) 研究会開始時間は午後1時です。
- (2) 研究会参加費は1,000円です。なお、本会に未入会の方は入会の程お願いいたします
(年会費は3,000円です)。
- (3) 本研究会は、日本小児科学会認定医研修単位として3単位となっております。

2. 演題発表者へ

- (1) 本研究会ではディスカッションを十分に行いたいと思います。
口演時間は一般演題6分、シンポジウム10分でお願いいたします。
- (2) スライドは原則として一般演題10枚、シンポジウム15枚程度でお願いいたします。
また、35m/m版用、1面のみの使用とします。
- (3) スライドは会場入場の際「スライド受付」にご提出下さい。
- (4) 今回はパソコンでの発表はご遠慮願います。

3. 口演者へのお願い

口演内容は、Progress in Medicine 7月号(ライフサイエンス・メディカ)に掲載される予定ですので、次の要領でまとめて下さい。

執筆要項：400字詰原稿用紙にて、図表は別で12枚以内にまとめて下さい。また、
200字以内の英文抄録を付して下さい。

原稿〆切：平成14年4月30日(後日、ライフサイエンス・メディカよりあらためてご連絡いたします。)

問合せ先：(株) ライフサイエンス・メディカ 日村昭仁

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山

TEL 03-3407-8963

13:00～13:30

最近の話題

座長 佐野 哲也（大阪厚生年金病院）

【7th International Kawasaki Disease Symposiumより】

和歌山県立医科大学小児科 上村 茂

国立循環器病センター小児科 津田悦子

13:30～14:20

座長 福田 和由（奈良県立医科大学）

1. 急激な肝機能異常を認めた川崎病の1例

箕面市立病院小児科

北岡太一 岩城 大 藤井史敏 藤川泰弘 下辻常介 山本威久

2. マイコプラズマ肺炎を合併した川崎病の1歳女児例

関西医科大学小児科

田中智子 寺口正之 蓮井正史 池本裕実子 小林陽之助

済生会泉尾病院

大川 薫 小野 厚

3. 巨大な頸部リンパ節炎で発症し、若年性関節リウマチ様症状を伴った川崎病の1例

滋賀医科大学小児科

岡本暢彦 中野江里子 多賀 崇 藤野英俊 中川雅生 竹内義博

京都府立医科大学附属小児疾患研究施設内科部門

坂田耕一

4. 急性糸球体腎炎を合併した川崎病の1例

神鋼加古川病院小児科

吉田 茂 藍 祥子 今井恵介 三舛信一郎

5. 川崎病頻回発症例4例の検討

紀南総合病院小児科

渋谷昌一

和歌山県立医科大学小児科

武内 崇 南 孝臣 鈴木啓之 上村 茂

14:20～15:10

座長 西岡 研哉（大津赤十字病院）

6. 巨大冠動脈瘤から冠動脈狭窄を経て冠動脈閉塞に進展した川崎病の1例

近畿大学医学部心臓小児科

福田 毅 篠原 徹 三宅俊治 豊原啓子 谷平由布子

7. 川崎病を疑うも抗生剤投与に反応し軽快後冠動脈瘤の存在に気づかれた1例

京都大学医学部付属病院小児科

石原温子 飯田みどり 野崎浩二 土井 拓 中畑龍俊

彦根市立病院小児科

石上 毅

8. 1歳時に川崎病に罹患し、3歳時に広範囲心筋梗塞、
重症心不全をきたした15歳男児の経過と今後の治療方針について

神戸市立中央市民病院小児科

芳本 潤 富田安彦 山川 勝 久保田優

9. 巨大冠動脈瘤に対するワーファリン療法中に腹腔内出血を来した1例

和歌山県立医科大学小児科

南 孝臣 戸口幸治 武内 崇 鈴木啓之 上村 茂 吉川徳茂

紀南総合病院小児科

渋田昌一

10. 急性期に冠動脈病変を合併しなかった川崎病既往児 90 例の長期経過について

京都市立病院小児科

清水次子

15:10~15:50

座長 吉林 宗夫 (近畿大学医学部奈良病院)

11. 成人期川崎病冠動脈障害のスクリーニングと経過観察:

MRCA (Magnetic Resonance Coronary Angiography) の有用性について

東京通信病院小児科

稲葉利佳子 鈴木淳子 小野正恵 保科 清

東京通信病院放射線科

佐藤克彦 是永建夫

12. 川崎病既往正常冠動脈の免疫組織化学的検討

東京通信病院小児科

鈴木淳子

東京女子医科大学心研小児科

富田幸子 小松敬子 中澤 誠

西神戸医療センター小児科

深谷 隆 馬場國藏

国立循環器病センター病理部

由谷親夫

13. 免疫グロブリン療法を施行し急速に改善した劇症型心筋炎の1例
—抗酸化因子チオレドキシシン (TRX) の解析の検討—

京都大学大学院循環病態学

塩路圭介 岸本千晴

武田総合病院循環器科

松浦 靖 北口勝司 岩瀬知行 橋本哲男 河合忠一

14. 急性期川崎病におけるBNP、ANPの検討

市立豊中病院小児科

浜名圭子 黒飛俊二 川上展弘 前川 周 滝沢祥子 稲田菜穂子

本田敦子 松岡太郎 藤田 博 原 達幸 永井利三郎

15:50~16:05

【コーヒーブレイク】

16:05~16:10

【事務局報告】

16:10~16:50

座長 清水 達雄 (生駒総合病院)

15. 川崎病急性期におけるアスピリン治療の有効性について

京都第二赤十字病院小児科

伊藤陽里 清沢伸幸

16. 当院で施行したガンマグロブリン超大量療法(1g/kg/day)について

市立豊中病院小児科

黒飛俊二 前川 周 滝沢祥子 浜名圭子 稲田菜穂子 川上展弘

本田敦子 松岡太郎 藤田 博 原 達幸 永井利三郎

18. 研修指定病院小児科におけるクリニカルパス普及度と川崎病パス

市立岸和田市民病院小児科

瀬戸嗣郎 田村良香 宮崎真紀 大村馨代 秦 大資 古庄巻史

16:50～17:40

特別講演

座長 松村 正彦（天理よろづ相談所病院）

【小児狭心症患者のヘパリン運動療法】

京都大学医療技術短期大学部 藤田 正俊 先生

17:40～19:00

シンポジウム

座長 上村 茂（和歌山県立医科大学）

荻野廣太郎（関西医科大学附属洛西ニュータウン病院）

【川崎病既往者の長期予後—そのエビデンスは—】

川崎病児はいつまで経過観察が必要か？

冠状動脈血管機能および構造からのアプローチ

久留米大学医学部小児科

石井 正浩

川崎病による冠動脈炎は予後に影響するか？

—冠動脈瘤のない患者の20年の経過観察から—

国立循環器病センター小児科

津田 悦子

瘤を確認できなかった冠状動脈、狭窄性病変への進展の可能性について

東邦大学医学部附属大橋病院病理学

高橋 啓

川崎病既往者の長期予後：疫学的観察から

自治医科大学公衆衛生学

中村 好一

追加発言

川崎病後遠隔期の内皮機能障害と遠隔期管理

三重大学医学部小児科

三谷 義英

経過観察を終了することが可能な川崎病既往児に対する管理への提言(案)と
2003年の第2回目のシンポジウムに向けて

近畿川崎病研究会「管理に関する小委員会」 篠原 徹

にっぽんの血液製剤です。

献血であることの誇りと重責……



禁忌 (次の患者には投与しないこと)

本剤の成分に対しショックの既往歴のある患者

原則禁忌 (次の患者には投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること)

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

冷蔵保存から室温保存になりました。

指定医薬品

血漿分画製剤

献血由来 静注用免疫グロブリン製剤



献血ベニロン-I

〈乾燥スルホ化人免疫グロブリン〉
生物学的製剤基準

薬価基準収載

Kenketsu Venilon®-I

本剤は、献血による貴重な血液を原料として製剤化されたものです。問診、感染症関連の検査等の安全対策を講じていますが、血液を原料としていること由来する感染症の伝播等の危険性を完全に排除することはできないことから、疾病の治療上の必要性を十分に検討の上、必要最小限の使用にとどめるようお願いします。〔使用上の注意〕の項参照) ●詳細については製品添付文書をご参照下さい。

総発売元・販売

TEIJIN 帝人株式会社

医薬事業本部 〒100-8585 東京都千代田区内幸町2-1-1
資料請求先：帝人(株) 医薬事業本部学術情報部

製造元・販売

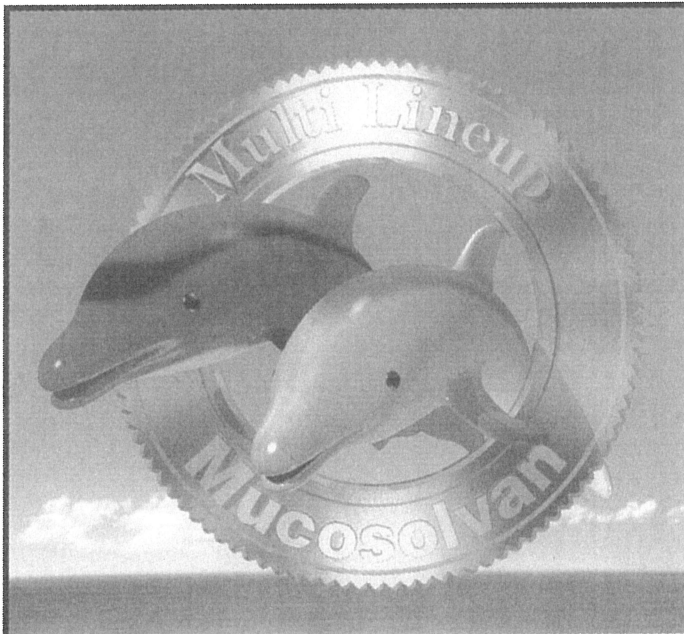


化血研 製薬化学及血清療法研究所

〒650-8568 泉南市大塚一丁目6番1号
Phone 090-344-1211 / Fax 090-345-1345
資料請求先：(財)化学及血清療法研究所営業管理部

資料請求先：帝人(株) 医薬事業本部学術情報部
(財)化学及血清療法研究所営業管理部

VE16-0101 作成年月2001年11月



気道潤滑去痰剤
徐放性気道潤滑去痰剤

指定医薬品 薬価基準収載

ムコソルバン

Mucosolvan® 〈塩酸アンプロキシソール〉

錠・液・Lカプセル
シロップ・ドライシロップ

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。

販売

TEIJIN 帝人株式会社

医薬事業本部 〒100-8585 東京都千代田区内幸町2-1-1
資料請求先：帝人(株) 医薬事業本部学術情報部



Boehringer
Ingelheim

提携

ベリンガー・インゲルハイム・インターナショナル社
インゲルハイム・アムライン(ドイツ)

MUC707 (MD) 0107
2001年7月作成